

日本ボストン会会報

発行者 日本ボストン会事務局 郵便番号166 東京都杉並区和田1-13-19-606

日本ボストン会の発足にあたって

幹事一同

日米関係とは歴史的には日本とニューイングランドの関係から始まるのは良くご存じの通りである。

ボストンを中心とするニューイングランド地方には日本との古い関係を示す数多くの形跡・美術品がある。江戸時代から今日迄のこれらの物を数え上げれば枚挙に暇の無い状態である。

数年前に米国のボストン日本人会に、灯ろう等の古い日本美術の修復基金の援助の申し入れがあった。現地としては資金不足で満足な回答が出来なかった。

これを契機にボストン日本人会日本支部の様な組織を作って、このような場合に日本から支援する体制を作ってはとの提案がボストン日本人会の役員会でなされ了承された。

その結果出来たのが日本ボストン会である。折角作るのであるから、日米文化交流を基軸に据えようと言う事で後掲の会則案が作成された。

数年間に亘る関係者の熱意と米国側のボストン日本人会の支援で今回無事発足に至った事を感謝したい。日米の両組織は独立した組織であるが、設立の経緯からして今後とも密接な協力関係を維持して、日米友好の架け橋の一端を担っていききたいと思う。

人生最良の幸せは仲間との語りである。入会希望者を是非事務局へご連絡下さい。

やっと雪の消えたボストンから

吉野耕一、代表幹事

数年振りに雪の沢山降った冬を過ごしました。全積雪量で三番目、三月の中では史上最高でした。その雪も殆ど溶けて、落葉の間から緑の芽が顔をのぞかせる季節を迎えています。

昨年暮れは雅子さんのニュースで、沢山の取材に振り回されました。日本人会は記録が完全に保存されてなく、小和田一家が住まわれた頃の日本人会の名簿はありません。雅子さんがハーバードの学生の頃は久野会長の頃で、各大学の日本人会が(株)組織としてボストン日本人会に参加しています。

ハーバードの会もその一つで、雅子さんはハーバード日本人会の秘書として、日本人会名簿に記載されています。

古いボストン日本人会の名簿をお持ちの方にお願いたいのですが、お持ちの名簿の年度をお知らせ下さい。当方で抜けている年度を出来るだけうめていきたいと思っています。

4月1日にポーツマスの海軍基地の中で、ポーツマス条約記念室の開室式が、ポーツマス日本協会の主催で基地司令官、望月総領事出席の下で行われました。今後は日本の旅行者も訪れる事が出来るようになるかと期待されます。

代表幹事の挨拶とのことですが、ボストンからのお知らせに代えさせていただきます。

講演と音楽の夕べ

日時	平成5年(1993年)6月11日(土) 18:00 - 21:30
場所	「アンダンティーノ」 (電話03-3408-2006) 青山ツインビル西館地上1階 (地下鉄銀座線/半蔵門線青山一丁目駅下車)
講演	工学博士柳沢幸雄 (ハーバード大学准教授) 「環境問題 ウソとホント」
音楽	松岡英子 (1992年ニューイングランド音学院大学院卒業) ピアノ演奏
会費	お一人 8千円 (お食事代込み)
申込み先	日本ボストン会事務局 (詳細同封別紙参照)